

全員協議会（台風19号の対応状況等について）質問通告一覧表

（11月15日）

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
1	災害関連情報の把握、提供（体制）及び課題について	(1) 避難勧告の判断基準及び情報伝達について (2) 市民への正確な情報提供の方策について (3) 各河川の水位把握状況及び情報発信について (4) 多摩川以外の避難について (5) SNS活用について (6) 今後の情報提供のあり方について	1 避難情報の発令について (1) 避難勧告の周知は激しい暴風雨の中でできていたのか。要支援者、高齢者、障害者へ情報は伝達されていたか（手段：防災行政無線、消防団、テレビ、ラジオ、ホームページ、SNS）（内容：避難レベル、避難場所、移動方法、避難所の状況）。 5 河川の水位把握の状況は (3) 河川の水位経過は把握できていたか（小河内ダム、上流、監視カメラ、センサー）。 越水水位の情報は。ホームページのアクセス数の上昇に伴う、サーバーの容量拡大は。 2 多摩川以外の避難について (1) (4) 避難勧告における判断の基準は何	4 災害時のホームページによる情報提供について (2) 近隣自治体のホームページを確認したところ、多くの自治体のトップページは災害モードとなっており、調布市ではツイッターを活用し、情報提供を行ったことは評価するものであるが、ホームページは平時対応と同じレイアウトとなっていた。災害時であることを示すため、調布市においても被災の恐れのある有事の際のトップページは災害モードとすることが望ましいと考えるが見解を問う。 5 市民への正確な情報提供の手段・方策について (2) SNSなどで危機感をあおるような誤った情報が氾	2 災害時における職員の招集について（対応人員について） (1) 突然の地震とは違い、台風19号は事前より雨量やその猛威が報道されており、京王線等交通機関の運休も事前に発表された。避難所開設や地域・市民への対応も含め、12日（土）14時の対策本部設置時間（中略）は妥当といえるのか。 (略)	2 災害・避難対策の教訓と課題について (1) (2) (6) 予知されていた台風19号への対応として、危機管理意識が十分だったのか。 市民の安全な避難のために、避難勧告等に関するガイドラインの運用は適切だったのか。事前準備、災害対策本部設置、避難勧告などの時期の前倒しが必要だったと考えるがどうか。 避難伝達の課題に関して、防災無線が聞き取れず、避難行動がおくれた事例もある。防災無線の改善及び、その他の伝達手段の充実についての考えは。調布エフエムやJ-COMからの情報提供をふやすことやホームページ、エリアメールの検	3 情報提供について (1) (2) 防災無線やパトカーや消防車から流れる放送について何を言っているのかわからず、聞き取ることができない。今後の方向性は。		2 野川について (3) 最高水位が1.85メートルで氾濫危険水位3.53メートルには達していないが、市民の安心のため、災害対策本部が入手している情報を告知できなかったのか。		

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
1			であったか（野川、入間川、仙川の状況は。三鷹市は16時15分、大沢2、4、5、6丁目に避難勧告、高台の大沢台小・第七中に約200人が避難している）。	<p>濫した場合の対処法として、市として正確な情報をどのように市民に伝えるのか検討すべきと考える。見解は。</p> <p>3 避難所開設に向けた情報伝達のあり方について (4)(6)</p> <p>報道等では多摩川近隣地域の避難勧告等が多く取り上げられていたが、多摩川以外の市内を流れる仙川や野川、入間川の情報取得しづらく、流域住民から不安の声が上がっていた。野川流域住民からは避難所開設についての問い合わせ先がわからないといった声も寄せられたと伺っている。こうした状況に対し、河川流域住民への迅速な情報伝達手段はどのように確保されているのか。体制の構築が必要と考えるが、見解を問う。</p>		証。国交省の河川水位情報のサーバーダウンについて改善要請を。また、自治会などとの連携の検証や、多摩川だけでなく、野川、入間川、仙川、根川、府中用水などの災害情報を市民に提供すること。 (略)					

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
1				<p>7 SNS活用について (5)</p> <p>長野県では、千曲川の決壊時、電話が不通の中でもSNS活用が効果を発揮したという報告があった。また、「#(ハッシュタグ)大雨・台風19号・長野県被害」と入れて発信したことで、被災者に瞬時に状況が伝わり住民の安心感につながったという。長野県では、職員6人が対応したが、調布市ではSNSを活用した体制はどのようなものであったのか具体的に伺う。</p>							
2	避難所運営体制の想定と結果及び課題について	<p>(1) 避難所の想定と受け入れについて</p> <p>(2) 避難所開設における課題と今後の対策について</p>	<p>3 避難所の想定範囲と妥当性</p> <p>(1) 避難所開設時間、開設数、避難者想定人数と避難所の収容可能人数(避難勧告18,327世帯39,425人に対する避難想定数と収容可能人数)。</p> <p>避難所の開設理</p>		<p>1 「避難所の開設の仕方」について (1)</p> <p>台風19号到来の前日、市長は五中記念式典で「私たちがこれまでに経験したことのないほどの台風が来ている」と注意喚起を促したが、なぜ最初に「自主避難所」として地域福</p>	<p>3 避難所について、人員確保、避難物資について (1)</p> <p>一部の避難所が満杯となり、入り切れず諦めた市民が発生したことに関して、開所時期を早めることや五月雨式ではなく早い時期から一斉に開所することの必</p>	<p>1 避難所について (1)</p> <p>公立学校だけではなく幼稚園、保育園、ふれあいの家なども避難所として多くの場所を一時収容可能施設として開設できないか。地域での共助により避難所運営に協力ができると思うが、どのよ</p>	<p>3 職員の現場判断について (1)(2)</p> <p>避難所での受け付けの仕方(暴風雨の中ぬれながら列に並ばされるなど)や避難所の設備利用の範囲など、臨機応変な対応がなされず避難者に負担をかけた場面が多々あった</p>	<p>1 避難所について (1)(2)</p> <p>各避難所の定員の明確な取り決めはあるのか。ある場合、満員の定義は。ない場合は、どうやって現場は判断したのか。避難所(職員)と災害対策本部との情報共有手段は。</p>	<p>1 避難所の収容人数不足とタイミングについて (1)(2)</p> <p>避難所開設時の時間帯には雨・風が強く避難したくてもできない。避難しようとしたが最寄りの避難所が満員で入れないために避難を諦めた市民が多かった</p>	<p>1 避難所の受け入れについて (1)</p> <p>全ての避難所において(収容人数などの理由で)受け入れを断った避難者はいなかったか。</p> <p>2 避難所の運営について (1)(略)</p> <p>避難者のペット</p>

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
2			<p>由（浸水想定区域の富士見台小，下石原地域福祉センターはなぜ避難所に）。</p> <p>4 車両避難とペット同伴の想定について (1) (略)</p> <p>ペット連れや市外在住者等への対応は想定されていたか（(中略) ペット連れ，市外在住，外国人，ホームレス）。</p>		<p>社センターを開設したのか。後から富士見台小も開設。しかも下石原地域福祉センターも富士見台小もともに浸水想定区域なのに開設した理由は。その他にも避難所を開設したが，最初から深大寺地域等の高台の小学校（総合体育館等も含む），また，多くの車両もプールできる地域・場所をなぜ開設しなかったのか。</p> <p>6 避難所とする場所への備蓄品や受け入れ体制の備えについて (1) (略)</p> <p>他方，ペットと同行避難される方々へは，今回は最初の段階で避難所へのペット同行を市は断った。改正された災害対策基本法ではペット同行が定められているが，市がとった行動の理由は。</p>	<p>要性について，ペット（中略）の対応についてどうだったか。 (略)</p>	<p>うに考えるか。 (略)</p>	<p>ようだが，どの程度まで職員の現場判断に任されていたのか。また今後，避難者の気持ちに寄り添った対応を徹底するためには，現場の状況をより理解している職員の現場判断に任せる必要があると考える。どのような対策を考えているか。</p>	<p>3 石原小の開設について (1) 12日（土）19時に開設し利用者はゼロだったが，風雨が最も強い時間帯に開設した理由は。 また自主避難所の開設と同じタイミングで避難所の開設は検討しなかったのか。</p>	<p>が，これに対する今後の対策は。</p>	<p>を受け入れることへの課題と今後の対策について。</p>

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
2					また、その後にグリーンホール（小）をペットの避難所にした理由とその現場での課題を伺う。						
3	要配慮者等への受け入れ体制について	(1) 関係機関と連携した要配慮者の避難状況について (2) 避難所の備蓄品や受け入れ体制の備えについて (3) 避難しやすい環境や支援体制の対策について	8 福祉関係の避難状況について (1) 地域や福祉関係者による要支援者、福祉施設の避難・対応状況はどうであったか（特に浸水想定区域の福祉施設では）。		6 避難所とする場所への備蓄品や受け入れ体制の備えについて (2) 今回、地域福祉センターは「自主避難所」にされたが、災害時は要支援者に対する重要な避難所となる。毛布や飲食料品も必要になることは明らかである。近隣の小学校との備蓄品連携や新たな地域福祉センター用の備蓄品が必要である。 (略)	2 災害・避難対策の教訓と課題について (1) (略) 要支援者への対応に関して、災害時要援護者避難支援プランは生かされたのかの検証を。 (略)	2 避難行動について (3) 1人での行動が困難な高齢者に対して今後、どのようにサポートしていくのか。	1 配慮が必要な避難者への対応について (1) (3) 車椅子利用者の避難所内での移動や体を横たえての休息への対応、発達障害のある子どもへの合理的配慮、階段移動が困難な高齢者や障害者への対応等、配慮を必要とする市民への対応について、あらかじめ職員間の情報共有や訓練は行われていたのか。 2 避難しやすい環境づくりに向けての対策は (3) 高齢者、障害のある方、幼い子どもがいる家庭、またこれらの条件が複数重なっている家庭では避難所の利用にちゅうちょ			2 避難所の運営について (3) 要支援者（中略）を受け入れることへの課題と今後の対策について。

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
3								を感じ、避難がおくれがちだった。そのような家庭に対して、市民自身の事前準備も含め、避難しやすい環境づくりを進めていくために、今後どのような対策を考えているか。			
4	災害（水害）時における避難体制整備・対策について	(1) 車での避難対策について (2) 市施設以外での車両の受け入れについて (3) 体育館ほか、避難所となる学校施設の不備・ふぐあいについて	4 車両避難とペット同伴の想定について (1) (2) 車両避難の想定台数と駐車可能台数（民間駐車場、避難所）（中略）への対応は想定されていたか（避難所周辺の渋滞（略））。	1 水害時における車での避難対策について (1) (2) 水害時の避難所への移動手段として、自家用車の使用例が多く見られた。避難所開設に当たっては居住地の近くに限らず、川から離れた学校を開放するなどの検討が必要と考える。あわせて、水害時に神代植物公園周辺の駐車場を使用できるような協定を結ぶことはできないか、車での避難対策について見解を問う。	3 体育館ほか、避難所となる学校施設の不備・ふぐあいについて (3) 体育館に入り切れず校舎教室も使用したが、市の報告書では小学校10校、中学校4校での雨漏り発生を記載しているが、避難の中心施設となる「体育館での雨漏り」はなかったのか。また、自家用車での避難による運動場のわだちの発生（後に復旧）とあるが、今後、自家用車のプール計画をどのように考えているのか。また、開錠できず教室が使用できなく廊下が避難所とな	3 避難所について、人員確保、避難物資について (1) (2) (略) 車移動への対応についてどうだったか。今後の駐車スペースの確保などについての考えは。避難所の災害物資の活用と充実についてや避難勧告地域の人口と避難所確保の課題、避難所、垂直避難、駐車場所確保、自主避難の状況の調査など含めて避難場所の確保対策を。	1 避難所について (2) (略) 車両の受け入れについて、イトーヨーカドーの利用についての方向性は。				

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
4					ったことや体育館の放送機器が使えず情報提供ができなかったことに対し今後どのように対処していくのか。						
5	市職員を含む避難所運営にかかわる関係者の参集状況及び広域連携状況について	(1) 市職員を含む避難所運営にかかわる関係者の参集状況及び広域連携について (2) 支援物資の配布状況について	7 避難所運営と参集状況について (1) (2) 市職員の参集状況はどうであったか。 地域の方々の参集・連携状況, 学校関係者の参集・連携状況はどうであったか, 広域連携はできていたのか (小学校圏域外との連携)。各避難所の支援物資は適正に配布されたか (内容, 量, 時間)。	8 職員参集体制について (1) 市職員の招集状況については, どのような総括をされたのか。また, 公共交通機関が運休した場合などを考慮し, 車で参集した職員の駐車場についての対策を考える必要があると思うが, 見解を問う。	2 災害時における職員の招集について (対応人員について) (1) (略) 招集人員は妥当といえるのか。また, 決められている災害時の「初動要員」は何%招集したのか (初動要員の稼働率は)。さらに, 要支援者対応としての (福祉避難所での対応人員) 社協職員4名の出動は社協全体の何%になるのか。その他, 招集職員の自家用車の駐車態勢の課題。	4 市役所の体制について (1) 災害・被災・復旧時の電話・窓口体制について, 12日～14日の市への電話連絡などに関する問題が多く市民から指摘されている。12日当日の市民からの問い合わせ窓口, 体制, 対応はどうだったのか。 被災後, 13日, 14日の問い合わせ窓口, 体制, 対応はどうだったのか。閉庁時でも災害対策本部への伝達, 問い合わせ情報への対応を可能にすること。また, 災害時・復旧時の職員体制・定数の問題について国などに人的・財政的支援等必要な提起を行うこと。					

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
6	関係機関との地域における連携体制及び相互支援について	(1) 関係機関との情報共有及び連携の適正性について (2) 消防団との連携及び課題について (3) 京王多摩川駅前地域の避難について	6 広域やライフライン、その他の連携について (1) 国交省、東京都、隣接・関係自治体、自衛隊、消防、警察、消防団との情報伝達・報告確認はあったか、ライフライン(電力、ガス、水道)との連携は適正であったか。	2 消防団との連携について (2) 水害時の消防団による復旧活動に関しては、被害地域外の分団への応援態勢を構築しておく必要性が感じられた。火災対応への待機分団を確保しておくことはもちろんであるが、平時から分担に関する検討を加えておくことが求められる。見解は。						3 消防団員について (2) 今回、多くの消防団員が尽力してくれたが人員不足や課題はどうだったのか。団員一人一人や各分団に係る負担は多すぎなかったのか。 2 京王多摩川駅前地域の避難について (3) ハザードマップの浸水エリアの中で京王多摩川駅が唯一の駅だが、避難や防災面で協力したりしていたのか。今後、緊急時の民間企業などとの協力は考えているのか。	
7	浸水防止対策について	(1) 土のうステーションの配置について		6 「土のうステーション」について (1) 突然の豪雨に見舞われた際、浸水を防ぐ道具の1つとして土のうが挙げられる。土のうを自宅や事業所に常備しておくのはスペースの問題等もあり困難である。調布市には若	4 住民の生活再建と予防への支援について (1) (略) 台風接近に伴い、市民から土のうの要望が上がっていたが市は「取りにきてください」とのことしか言えなかった。高齢者や障害者、運						

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
7				葉町1丁目緑地内に土のうステーションが設置されており、台風等の大雨時に自由に使用できるものだが、今回の台風19号による豪雨の際、どのように活用されたのか実態を伺う。他自治体では各地域に複数箇所の土のうステーションを配置する自治体もあるようだが、調布市における土のうステーション配置についての考え方を伺う。	搬車両がない人は無理である。自治会等とも連携し市内各地域を調査し「土のうステーション」をふやすべきではないのか。 (略)						
8	被害地域及び被害の把握と、市の対応について	(1) 浸水想定区域への新築物件建設時の情報提供及び指導について (2) 被害の把握と、市の対応について	9 被害地域について (1) 浸水想定区域に建築の際、事前に適切な情報提供・指導は行われていたか。		5 被害の把握と、市の対応について (2) 家屋の浸水被害について市の報告書では被害発生状況についての時系列記載はない。市は被災状況の把握を「いつ」「どのように」行ったのか。 19号発生時は連休と重なっていた、ごみ処理や下水道など全庁で対応が必要であったが住民の要請に迅						

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
8					速に対応することはできていたか。						
9	被災者支援について	(1) 住民の生活再建と予防への支援について (2) 被災者の実態把握と継続した支援について			4 住民の生活再建と予防への支援について (1) 国の被災者生活再建支援法が適用された、都の独自の支援もある。いずれも市の条例等の整備が必要では。被災者が漏れなく全ての支援を受けられるようになっているか。 (略) 今後の台風や豪雨に備え、シャッターや防護壁など自己防衛のための準備について支援をすることは考えているか。	5 被災者支援について (1)(2) 被害発生後の初動対応について、実態把握と対応は適切だったか。市職員による戸別訪問の実施内容と結果について。また、被災専門窓口を継続すること。支援内容の説明などはワンストップで行うこと（被災ごみの処理、消毒などの対応は被災者の課題解決まで存続を）。教育・福祉施設、市内産業、農業などの被害の把握と対策についてや被災者生活再建支援制度の活用など国・都の制度活用への支援復旧までの仮住まい支援について。					
10	今後の検証及び対策について	(1) 検証方法及び組織体制について (2) 多摩川の堤防整備と根川への対策について (3) 冠水の原因究明と再発防止・減災対策について	10 今後の検証について (1) 検証はどのように、誰を入れた組織で、いつまでに行うのか。		7 多摩川の堤防整備と根川への対策について (2) 台風19号では多摩川の水位が越水ぎりぎりであっ	1 冠水の原因究明と再発防止・減災対策について (3) 根川逆流、下水漏出の事実経過に係る六郷排水門の					

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
10		(4) 地域防災計画の見直しについて			<p>た。堤防は古く、ひび割れ、ボルトの破損、さびも見られる。以前これを指摘した際には「河川事務所がハンマーでたたいて安全を確認している」との回答だったが、再度、河川事務所に点検要請し、堤防の高さや強度について安全確認や必要な整備を求める。今回求める回答は、安全であるのなら、その「裏づけ」や「根拠」をきちんと示していただきたい。</p> <p>19号による被災の最も大きな要因は根川にある。明年も台風が来ることを考えると、国交省への抜本的な取り組みの要請とともに自動排水ポンプを設置するなど、狛江市と予算も協議しながら市独自の予防策も早急に行うべき。</p>	<p>開閉対応の狛江市との情報共有と市民への情報発信について。</p> <p>事実に基づいた冠水のメカニズムについての被災住民からの聞き取り調査、狛江市とともに国・東京都の情報提供(CCTV映像、出水後状況調査の結果など)、国・都の河川・下水道関係者の協力も要請して冠水メカニズムの解明を。</p> <p>再発防止・減災対策に係る調布、六郷排水樋門、樋管への水位センサー、監視カメラの設置と公開。府中用水、根川周辺市と協力し、必要な国・都の支援も受けて内水氾濫についてのシミュレーションを行い、結果を住民に知らせること。また、両排水樋門に高水位でも排水可能な出力の排水ポンプの設置や根川を掘り下</p>					

番号	質問の件名	質問の要旨	自由民主党 創政会	チャレンジ調布 21	公明党	日本共産党	社会民主党	生活者 ネットワーク	日本維新の会	次世代・調布	調布の未来を 創る会
10						<p>げ流下量をふやすこと。市独自で浸水予防、車水没対策要綱などの検討や国、東京都に対し財源支援の要望をすること。多摩川の治水対策を強化することや緊急には二ヶ領上河原堰上流の土砂しゅんせつ、破損した水衝部河岸補強を急ぐ。流域自治体とともに貯留施設の建設、水門・樋門操作の情報共有・連携など多摩川の治水対策のハード・ソフトともに抜本強化を国に求める。</p> <p>6 地域防災計画の見直しについて (4)</p> <p>風水害編の検証と抜本の見直しを求める。また、本年2月の京浜河川事務所との訓練と台風19号襲来時の実際について検証されているのか。</p>					